

着任挨拶

名古屋大学 大学院工学研究科
マイクロ・ナノ機械理工学専攻
マイクロ・ナノ機械科学講座
生産プロセス工学グループ

野老山 貴行 准教授



2017年4月1日よりマイクロ・ナノ機械理工学専攻、マイクロ・ナノ機械科学講座、生産プロセス工学グループ梅原研究室の准教授に着任いたしました野老山貴行（ところやま たかゆき）と申します。2006年4月から2014年3月まで同研究室にて助教を務め、2014年4月から2017年3月まで秋田大学大学院工学資源学研究科（現 理工学研究科）にて准教授を3年務めた後、同研究室の准教授として帰ってまいりました。

秋田大学在籍時は大変短い夏と11月から降り始める雪、12月にはハタハタ漁の解禁を告げる天変地異クラスの雹（ひょう）と霰（あられ）と雷、入試前には学内の凍結路面をピッケルで掘り返すなど、名古屋とは全く異なる環境で、大変勉強になりました。『雪かきは重労働』ということが本当によくわかりました。『着氷警報』なるものが存在することも初めて理解でき、寒冷地にとって氷や霜の付着は、生活に直結する大変身近な問題です。表面の凹凸と濡れ性の制御により着霜を抑制することや、着霜方向を制御できる表面創製を目指して、走査型電子顕微鏡内でのマイクロメートルスケールの霜成長の観察を行っております。

また、元々の専門であるトライボロジー分野では、炭素系硬質薄膜の実用に注力し、エンジン油に含有される添加剤と炭素系薄膜との摩耗促進機構の解明とその抑制、摩耗量を予測できる立式、炭素系薄膜の摩擦に伴う構造変化のその場観察、境界潤滑面内への摩耗粒子侵入のその場観察など、『見える化』に注力しております。

自動車産業をはじめとする多くの産業が集積している東海地区において、東山会の皆様からご指導・ご鞭撻をいただける機会をいただけますと幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。